

Hybridカー DMAT仕様



トヨタアルファードHybridをベースとしたDMATカーです。

室内後部に患者搬送設備はありませんので、1BOXカーのラピッドカーのような車もあります。

ルーフにはスタイリッシュな散光式赤色警光灯を装備。パトライト製のALS シリーズです。

Hybrid車なので、1500Wの電力を取り出す事が出来ます。災害時にも役に立つことでしょう。（エンジン停止中は不可）

定員は8名のモデルを選びましたので、座席はフラット形状で室内に荷物を搭載し易いです。



Hybrid車ならではの装備

オプション装備の他にAC100Vコンセントを増設し使い勝手を向上させました。



しかし、Hybrid車であることから、電気系統の改造には大変に苦労させられました。

悩んだ場合の考え方は、このDMATカーが、過酷な運用をされることや、もしくはその逆。あるいは災害の場面によっては、待機時間が長時間になるかもしれないことなど、さまざまな状況を想定し、DMATが、車の電気を気にせずに、災害医療支援活動に専念できるようにするにはどうするか？

そこで、オリジナル開発されたのが、左図の特殊な装置。見た目は、時限爆弾のようですが、かなりの優れものです。

（画像は加工してあります）



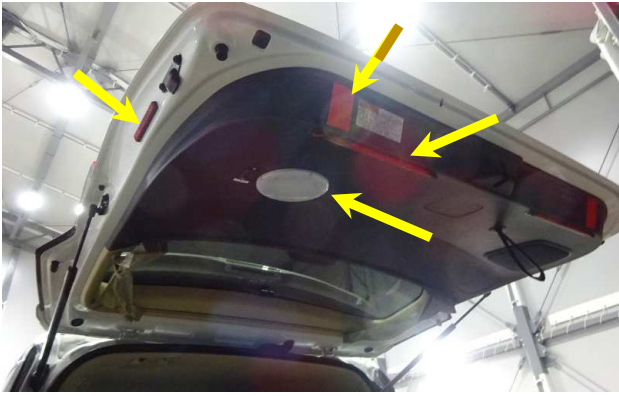
センターコンソール部にサイレンアンプ等を埋め込み、乗用車然とした見栄えと手が届く操作性にこだわりました。

ダッシュ中央には大画面のメーカーOPTナビが収納されておりまして、→グローブボックス内も考えましたが、あまり操作性が良いとも思えず、この位置を選びました。



しかし、ここでも、Hybrid車ならではの苦労がありました。この下にはハイブリッドシステムの高電圧回路があり、万一、この車自体がレスキューされる際には、サービスプラグを引き抜けるようにしておく必要があるからです。

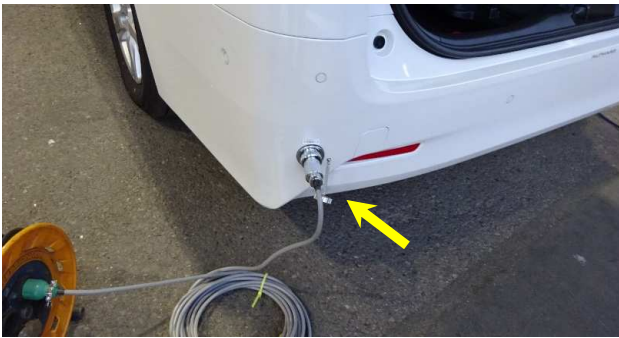
電流電圧計の他、外部入力時インジケータ、バックプザーOFF各種サイレンセッメージのプッシュスイッチを配列してありま



その他装備

バックドア解放時の安全性向上のため
反射材と、赤色点滅灯を装備しました。
それぞれ、左右対称位置に取付。

内側に作業灯（WHELEN製 CL-60CH）を装備



外部入力コンセントを装備。補機バッテリー充電用です。



助手席用アウターミラー



後室用12インチモニター
災害時に現場に駆け付けるまで情報収集に役立ちます。

運転席側のナビでも、走行中の操作やTV視聴が出来るように
別途スイッチを設けてあります。（運転者の操作は禁止）

フロントのミラーは、デジタル式。
後部室に荷物が満載されても後ろが見えます。



この日はドクターカーも同時に納車させて頂きました。

2台の製作に携わることが出来、非常に光栄です。
阪大病院様では、既にドクターヘリも保有していますから、
これでハードウェアは全て揃いました。
今後のますますのご活躍を期待しております。

おそろいのデザインは、院内のデザイナーによるものです。

後方に居るTri-Heartは、納車見学に駆け付けてくれたMさんです。